

平成26年度学校経営目標と評価

平成27年3月2日
宮城県塩釜高等学校学校関係者評価委員

1 本年度の重点目標

別紙

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

(1) 自己評価、生徒評価、保護者評価は、肯定的評価の割合により、以下のとおりとした。

- 75%以上の場合 . . . A
- 67～74%の場合 . . . B
- 50～66%の場合 . . . C
- 50%未満 . . . D

(2) 学校関係者評価は、以下のとおりとする。

- 適切である . . . A
- 概ね適切である . . . B
- やや不適切である . . . C
- 不適切である . . . D

番号	項目	内容	評価			現在の対応及び改善策	学校関係者評価	
			自己評価	生徒評価	保護者評価		自己評価の適切さ	対応・改善策の適切さ
1	学習指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業	A	B	A	新入試制度が始まり2年目となった。進学を希望する1・2学年普通科雄志クラスを中心に体系的な学習指導を行った。全教員が授業研究に努めた。生徒への授業振り返りアンケートを行った。	A	A
2	生徒指導	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導	A	A	A	服装頭髪検査を毎週行った。全職員の共通理解を図り、同一基準で生徒指導に当たった。SNS使用における情報モラルの啓蒙に努めた。	A	A
3	進路指導	進路目標の明確化に向けた適切な指導	A	A	A	昨年度同様、全職員が共通の意識を持って組織的な指導に取り組んだ。就職指導における情報を迅速かつ適切に提供した。	A	A
4	教育相談	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じられる体制	A	B	A	スクールカウンセリングの効果的利用を図った。生徒の実態を的確に把握するため、情報共有に努めた。	A	A
5	部活動	部活動が活発	A	A	A	部活動の活性化に努めるとともに、部活動数の精選を図り、活動場所の確保、職員の負担軽減に努めた。	A	A
6	生徒会活動	生徒会活動が活発	A	B	A	委員会活動を中心とした主体的活動の活性化を図った。生徒会役員が中心となり地域の諸活動に参加した。また、昨年同様朝の通学時には自転車乗車マナーアップ運動に積極的に参加し、生徒の安全登校に協力した。	A	A
7	学校行事	有意義な学校行事	A	A	A	2大学校行事としての文化祭・体育祭は成功裡に終了できた。2キャンパス5年目で学校行事のノウハウが確立し充実した行事となった。	A	A
8	防災教育	災害・非常時の避難方法や連絡方法の伝達	A	A	A	防災マニュアルの周知徹底を図るため、防災避難訓練だけではなく、防災教育を実施し在校中・登校中・学校外での避難経路や避難場所の確認と周知、家族や学校との連絡手段等の検討と確認に努めた。非常時・緊急時の保護者・生徒への円滑な連絡方法として、メール配信を活用した。	A	A
9	特色ある学校づくり	地域や伝統などに根ざし、地域に開かれた学校づくり	C	C	B	総合的な学習の時間（出前授業）を利用して地域の行政機関の情報を学び、地域との交流を図った。	B	B
10	情報の発信	学校便りなどによっての情報の適切な伝達	A	A	B	情報化支援員の協力を得て、ホームページを利用して、学校の情報を迅速かつ正確に発信することに努めた。	B	B
11	施設設備	校舎やグラウンドなどの施設や設備の整備	B	A	A	東校舎の施設・設備の老朽化に対応し修理・改修を随時行った。	A	A
12	いじめ問題	施設や設備の整備	A	C	B	学期ごとにいじめについてのアンケート調査を実施するとともに、担任による個人面談を充実させ把握に努めた。現在までいじめと認識されるような事案は把握されていない。	A	A
13	総合満足度	学校生活の充実度		A	A	学校として、生徒・保護者の要望に可能な限り応え、生徒にとって有意義な学校生活を送れるよう努めた。	A	A
平均			A	A	A			

(注) 「平均」は、全平均（教職員16項目、生徒・保護者13項目）